

由良港と成ヶ島

兵庫県・洲本市



由良港の歴史は非常に古く、日本書紀「応神天皇三十一年の条」に「由良の門」という名称で記されている。また、由良の町の南部に位置する生石山おいしに鎮座する出石神社いずしは、日本書紀に鎮座の伝説が記されており、大漁と海上安全の神様として根強い崇敬を受けている。

由良港は、成ヶ島が長大な防波堤の役割を果たしていることから、天然の良港となっている。また、地理的に大阪湾や瀬戸内の要衝であることから、慶長18年（1613年）成山城を池田忠雄が築城したのを始まりに、由良は城下町として栄えた。しかし、寛永8年（1631年）からいわゆる「由良引け」で洲本へ政庁が移り、城下町としてはさびれていった。その一方で参勤交代の際の寄港地として発展していき、江戸時代には新川口と今川口の2つの港口が掘削された。今川口は、時の藩主蜂須賀公の御座船を通すために拡張され、現在の由良港の姿になった。

由良は、好漁場である紀淡海峡に面し、大消費地の京阪神地区を近隣に控えているという有利な条件のもと、漁業の町として栄え、現在も漁師町として有名である。また、由良湊神社では、江戸時代から続いている伝統行事「ねり子まつり」という奇祭が毎年2月に行なわれている。

TOPICS

- ・由良湊神社 ねり子まつり 2月11日 開催、夏越まつりなごし 7月31日 開催
- ・特産品：海産物

お問い合わせ先

洲本市商工観光課

TEL / 0799-22-3321(代)

URL / <http://www.city.sumoto.hyogo.jp/>

兵庫県港湾課

TEL / 078-341-7711(代)

【交通】

バス / 洲本高速バスセンターから約30分

